

# 指定管理者制度導入施設 最終評価シート

## 1 基本情報

公の施設名	相模原市立総合水泳場（さがみはらグリーンプール）
指定管理者名	静岡ビル保善・コナミススポーツグループ 【構成団体】 静岡ビル保善(株)、コナミススポーツ(株)
指定期間	平成31年4月1日～令和6年3月31日
施設設置条例	相模原市立総合水泳場条例
施設の設置目的	生涯スポーツの振興を図り、市民の健康で文化的な生活の向上に寄与するため
施設概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>所在地：中央区横山 5-11-1</li> <li>構造：鉄筋コンクリート造一部鉄骨造</li> <li>敷地面積：27,456.28㎡</li> <li>建築面積：10,523.60㎡</li> <li>建築延床面積：16,126.50㎡（地階1,326.10㎡、1階10,040.10㎡、2階4,499.70㎡、3階260.60㎡）</li> <li>開館：平成9年5月20日</li> <li>メイン（50m）プール：50m×25m、10コース、水深2.0m～0.5m（可動床）、国際公認8コース、短水路、公認16コース（8コース×2面）</li> <li>飛び込みプール：22m×25m、水深5.0m～0.4m（可動床）、国際公認</li> <li>サブ（25m）プール：25m×17m、水深1.2m、公認8コース</li> <li>メインプール観覧席：椅子席2,043席、立見席1,000人相当、車椅子用観覧席</li> <li>サブプール観覧席：椅子席56席</li> <li>トレーニング室：サーキットトレーニング、ウェイトトレーニング及び疲労回復等の各機器</li> <li>会議室他：会議室（90席）、競技会関係諸室、事務室等</li> </ul>
施設所管課	市民局 スポーツ施設課

## 2 管理実績

項目（単位）	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
利用者数合計（人）	360,061	95,880	154,612	202,191	237,646
利用料金合計（円）	77,776,765	25,864,996	44,189,316	55,728,597	60,125,712

## 3 成果指標の達成度

評価（5評価）	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	評価点 （20点満点）	評価点
	<b>C</b>	<b>C</b>	<b>D</b>	<b>D</b>	<b>D</b>		

※令和2年度及び令和3年度は新型コロナウイルス感染症拡大に伴う施設休止の影響を考慮し、施設の開所日数や観客数の制限を踏まえ、目標値を修正した（令和2年度及び令和3年度における目標値の（ ）内の数値は修正前の目標値）

### 指標1

指標名（単位）	プール一般利用人数（人）
指標式と指標の説明	年間の一般利用人数（プール）

項目（単位）	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値（人）	153,400	52,507 (156,600)	84,108 (159,900)	163,300	166,800
実績値（人）	133,874	45,283	59,591	78,893	89,277
達成度（%）	87.3%	86.2%	70.9%	48.3%	53.5%

指標2					
指標名(単位)	プール専用利用件数(件)				
指標式と指標の説明	年間の専用利用件数(プール)				
項目(単位)	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値(件)	1,900	1,226 (1,960)	1,520 (1,980)	2,000	2,020
実績値(件)	1,235	613	918	1,318	1,386
達成度(%)	65.0%	50.0%	60.4%	65.9%	68.6%

指標3					
指標名(単位)	トレーニング室一般利用人数(人)				
指標式と指標の説明	年間の一般利用人数(トレーニング室)				
項目(単位)	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値(人)	69,400	13,988 (72,800)	44,435 (76,400)	80,200	84,100
実績値(人)	62,931	14,892	21,546	29,785	37,733
達成度(%)	90.7%	106.5%	48.5%	37.1%	44.9%

#### 4 事業の実施状況

評価(5評価)	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	評価点 (20点満点)	評価点
	<b>A</b>	<b>A</b>	<b>B</b>	<b>B</b>	<b>B</b>		

#### 市が指定する事業

主な事業名	内容等	効果等

#### 企画提案事業

主な事業名	内容等	効果等
わくわく親子水泳講座	6歳以下の子供と親を対象とした教室。親に水慣れの指導方法を講習します。	子供の水慣れ、親の水泳知識の向上、親子のスキンシップの向上
泳力アップ教室(子供)	小学生を対象とした水泳教室。泳法別に技術の習得を目指します。	苦手種目の克服、泳力の向上、短期間での技術習得
泳力アップ教室(成人)	18歳以上を対象とした水泳教室。基本動作を学び泳力の向上を目指します。	体力向上、泳力の向上、技術の向上
ウォーキング講座	18歳以上を対象とした講座。足回りの強化を図り歩く習慣を身に付けます。	健康維持の為の運動習慣の促進、歩行時の姿勢矯正
おなか引き締め講座	18歳以上を対象とした講座。お腹、脇腹の引き締め運動を行います。	シェイプアップ、メタボ予防、運動習慣の促進

自主事業		
主な事業名	内容等	効果等
親子リトミック教室	未就学児と親を対象とした教室。リズムに合わせて運動を行います。	親子のスキンシップの向上、知育の向上、五感の刺激による運動能力の向上
子供水泳教室	年齢別・泳力別にクラス分けをした4種目の習得を目指す水泳教室。	水慣れ、4泳法の習得、体力の向上、苦手種目の克服
競技力向上教室	映像機器を使いスタートやフォームを確認し、技術向上につなげる教室。	泳法技術の向上と修正、映像確認による自身の泳ぎを確認
チアダンス教室	年齢別にクラス分けしたチアダンスを習得する教室。	チアダンスの基礎技術習得、運動能力の向上、チームワークの育成
太極拳教室	18歳以上を対象とした、太極拳の基礎～型の習得を目指す教室。	太極拳の型の習得、技術の向上、運動習慣の習得、体幹の向上

## 5 利用者の満足度

評価（5評価）	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	評価点 (20点満点)	評価点
	A	A	A	A	A		

### 利用者満足度調査

調査手法	記入式アンケートを職員により無作為に配布及び施設内に設置し回収。令和3年度及び令和4年度のみインターネットでの回答も可能とした。
目標値の基準	総合満足度評価 満足・やや満足 90%以上

項目（単位）	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値（%）	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0
実績値（%）	96.5	96.8	98.5	98.5	97.3
達成度（%）	107.2%	107.6%	109.4%	109.4%	108.1%

### 利用者意見の把握に資するその他の取組

主な取組事項	取組内容
ご意見箱の設置	記入用紙と筆記用具を常設し、即時対応可能案件は原則翌日までに掲示若しくは専用ノートで回答。組織的検討必要案件は関係者で情報を共有し検討後に回答。
初回者アンケート	初めて利用する方へ1対1で施設利用方法の説明、利用案内を行う。施設利用後に簡易アンケートを実施し、ご意見を頂く。
第三者モニタリング	全国の統一基準で自らの施設経営能力、業務レベルの位置関係を把握する目的で、外部専門機関に委託。年度毎に事業計画書の履行状況などの検査調査を実施する。

### 利用者意見に対する対応

主な意見	対応内容
プール廊下が寒い、水が冷たい	プールサイドまでのタオル持込・着衣を可能としました。25mプールは常時30～32℃を維持し、館内に水温表示箇所を増やしました。
プールへ持込み、使用出来る物品を許可してほしい	杖、サンダルのプールサイドまでの使用と、アクアシューズ、腕時計、音楽再生機器のプール内での使用を許可しました。
参加しやすい教室にしてほしい	定員を超える教室を除き、申込は電話・窓口で先着順、支払は教室初日、キャンセルも無料とした。3ヶ月10回の教室を1ヶ月4回とした。

## 6 施設の経営状況

評価（5評価）	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	評価点 (20点満点)	評価点 <b>14</b>
	<b>S</b>	<b>A</b>	<b>S</b>	<b>C</b>	<b>B</b>		

### 施設の収支概要

(千円)

項目	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
収入（a）	364,338	375,482	371,775	371,972	358,331
指定管理料	283,345	281,059	274,587	274,498	270,499
利用料金収入	77,777	25,865	44,189	55,729	60,126
その他の収入	3,216	68,558	52,999	41,745	27,706
支出（b）	360,284	337,509	353,357	382,521	370,876
人件費	116,745	112,426	121,486	119,890	122,980
本社管理経費	7,944	8,253	8,410	8,571	8,735
その他の支出	235,595	216,830	223,461	254,060	239,161
本体事業収支 【(a)-(b)】(c)	4,054	37,973	18,418	-10,549	-12,545
自主事業収入（d）	51,458	9,734	22,054	33,320	38,429
自主事業支出（e）	52,888	24,787	32,814	45,946	44,241
自主事業収支 【(d)-(e)】(f)	-1,430	-15,053	-10,760	-12,626	-5,812
全体収支 【(c)+(f)】	2,624	22,920	7,658	-23,175	-18,357
備考					

## 7 管理業務の履行状況

検査項目	確認結果				
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
管理業務	適正に実施	適正に実施	適正に実施	適正に実施	適正に実施
危機管理	適正に実施	適正に実施	適正に実施	適正に実施	適正に実施
人員配置・地元活用	適正に実施	不適正	改善済	適正に実施	適正に実施
現金管理	適正に実施	適正に実施	適正に実施	適正に実施	適正に実施
会計・経理	適正に実施	適正に実施	適正に実施	適正に実施	適正に実施
情報セキュリティ	適正に実施	適正に実施	適正に実施	適正に実施	適正に実施
情報公開・個人情報保護	適正に実施	適正に実施	適正に実施	適正に実施	適正に実施
市への報告事項・事前承認等	適正に実施	適正に実施	適正に実施	適正に実施	適正に実施
加点の有無	有	有	有	有	有
主な加点内容	施設開館から20年以上が経過し、施設の老朽化が進む中、維持管理計画表を作成し、設備や機器の長寿命化を図るため、部品交換や修繕を早期に実施されていること。	施設開館から20年以上が経過し、施設の老朽化が進む中、維持管理計画表を作成し、設備や機器の長寿命化を図るため、部品交換や修繕を早期に実施されていること。	施設開館から20年以上が経過し、施設の老朽化が進む中、維持管理計画表を作成し、設備や機器の長寿命化を図るため、部品交換や修繕を早期に実施されていること、収支において黒字となったものを修繕等へ還元したこと。	施設開館から20年以上が経過し、施設の老朽化が進む中、維持管理計画表を作成するとともに、設備や機器の長寿命化を図ることを目的として、部品交換や修繕を定期的実施したこと。	施設開館から20年以上が経過し、施設の老朽化が進む中、維持管理計画表を作成するとともに、設備や機器の長寿命化を図ることを目的として、部品交換や修繕を定期的実施したこと。

※令和2年度の「人員配置・地元活用：不適正」については、労働状況台帳に一部不備があったことによるものであるが、令和3年度には改善を確認している。

### 8 指定管理者の自己評価

指定管理期間中は、感染症拡大に伴う施設休止の影響もあり、利用者数の減少による成果指標の達成が厳しい状況となりました。利用者の確保に向けて自主事業の細分化・実施方法の見直しなど、参加者ニーズを考慮した事業を展開しました。施設休止以前の水準までの利用者数には至りませんでした。少なくとも、運動不足解消や健康増進には寄与できたものと考えます。又、利用者の満足度についても高い評価を頂いていることから、安全で安心な施設運営が出来たものと考えます。施設の維持管理については、老朽が著しく進行している中、利用者の安全を第一に考え、計画的に保守点検を実施し長寿命化を目的とした修繕を行いました。修繕不能なうえ更新出来ない設備も生じましたが、相模原市と協議・連携しながら、安心・安全・快適に施設を運営することができました。

### 9 所管課意見

「成果指標の達成度」については、新型コロナウイルス感染症の影響が大きく厳しい評価となったが、「事業の実施状況」、「利用者の満足度」については、指定管理期間を通して概ね良好な評価となり、施設全体として、一定の水準を維持した運営がされていた。  
また、利用者の安心・安全を考えた維持管理及び施設運営ができていた点、事業実施において、実施方法の見直し等、柔軟に対応することで利用者の確保、市民の健康促進に寄与していた点を高く評価したい。

### 10 選考委員会意見

この5年間は新型コロナウイルスやエネルギー高騰などの事業環境が厳しい中で、経営を安定させる努力が見受けられたことは評価できる。予定していた事業等が計画どおり進まなかったこと、また運営を制限せざるを得ない期間から徐々に回復傾向にあることも経験し、そのような中でプールという運動としても有効な、かつ危険とも隣り合わせの施設の運営をしっかりと全うしてくれたことは見事であった。近年ではスポーツに関する知識を有している方やそうでない方が乖離している状況であると感じるところであるが、スポーツに対する知識を有していない方にこそ公共施設を使っただけのよう、様々なメニューを考えながら運営している点も事業運営として非常に有効であった。  
数ある施設の中でもプールという管理の難しい特殊な施設で、なおかつ非常に難しい指定管理期間であったが、老朽化が進む施設を安全第一に管理運営されたことを評価する。

